

福祉・くらし守る立場から

3月議会終る

福田くみ子議員が討論



過去最大の予算??
アベノミクスの恩恵は
市民には届いていない!

自主財源比率は下落傾向に歯止めがからず、9.1%前年比0.2%減の59.7%となり、H21年比では一割近く減っている。

歳入の根幹をなす市民税のうち個人市民税は、0.9%減。この点からも市民のふところは決して温かくなつてはいない、アベノミクスの恩恵は庶民には届いていない。

市長は過去最大の予算規模と胸を張るが、その主なものは、未だ市民合意が確認されていないLRT事業

関連国県からの補助金や負担金であり、全体の規模を押し上げているだけ。

LRT関連でメタボ予算くらし福祉はダイエット

第1の理由

未だ市民合意の確認なしのLRT事業関連費用203億9441万余。ここには議案48号のLRT整備基金として積み立てられる県からの60億円が含まれている。

第2の理由

宇都宮駅東口整備費として事業者選定や交流広場の基本設計の委託費に2098万円余。2000名規模のコンベンション施設を中心としたありきたりの駅前開発は、すでに破綻しており見直すべき。

第3の理由

肥大化するLRT予算に圧迫され、身近な暮らしの予算はやせ細っている。

安心安全対策費2500万円減、支所及び出張所費1億2000万円減、男女

宇都宮民報

発行
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722



共同参画費110万円減、国際化推進費50万円減、青少年健全育成費50万円減、ごみ減量化推進費550万円減、資源化推進費100万円減など。

第4の理由

国民健康保健について新年度から解消された3歳までの子ども医療費無料化のペナルティ分2800万円は、被保険者の保険料軽減に回し、高すぎる保険料を引き下げるべき。多子世帯の重い負担となっている均等割りの免除等の対策はすぐにでもできる。

議案第44号の国民健康保険広域化によって構造的問題は、解決しない。

第5の理由

マンパワーの不足。行政改革の名のもとにすすめられてきた職員定数の削減は、限度を超えており非常勤も含めた予算定数は前年比111名分が削減される。とりわけ、消防職員、保健師、消費生活相談員、図書館司書、生活保護ケースワーカーなどの専門職員の配置は、不十分。

LRTへの桁違いのムダ遣いをやめれば:

高齢者の運転免許返納制度とバスカード「いきいき70」の拡充、地域内交通の地元負担の軽減や制度改善、児童相談所の設置に向けた取り組み、子どもの貧困対策の拡充など待ったなしの課題に回すべき。

地域包括ケアシステム
関連議案
中身は社会保障費
削減ばかり

議案第41号：介護医療院の基準を定める条例案。介護

医療院とは医療を提供する介護施設。財源は保険料に跳ね返る介護保険。医療・介護難民を増やす内容。議案第42号：地域包括ケアシステム関連の条例案。高齢者と障がい者が同一の事業所のサービスをうけられるための規制緩和。理念も専門性も全く別のものであり、サービスの質の低下が懸念される。議案第43号：介護保険料月額平均750円の引き上げは認められない。

本年4月からの新しい委員会配置が決定しました。

荒川つねお議員 厚生常任委員会
福田くみ子議員 総務常任委員会 広報広聴委員会
議会運営委員会 (委員外委員)

市議会委員会とは？

議会は、条例で、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会を置くことができ、議会の議決により付議された特定の事件については閉会中も審査することができます。

荒川・福田議員の所属する各委員会の所管事項は次のとおりです。

名称	所管事項
総務常任委員会	出納室、行政経営部、総合政策部及び理財部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項
厚生常任委員会	市民まちづくり部、保健福祉部及び子ども部の所管に属する事項
議会運営委員会	次に掲げる事項の調査を行い、議案、請願等を審査する ・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項
広報広聴委員会	議会の広報及び広聴に関する協議・調整

LR T工事 国が認可!!

—荒川つねお議員に聞く—

何ら本質問題変わらず 市民との矛盾ますます拡大



Q LR T事業は、3月20日、国が工事施工を認可。県も22日に都市計画事業認可を出しました。宇都宮市は、これを受けて事業に着手、2022年3月、開業をめざすとしています。日本共産党宇都宮市議員団はこの動きをどう見ますか？

A 佐藤市長は、国の許可を受けて平石地区内の車両基地と鬼怒川に架かる橋の建設を先行。事業用地買収のための作業に入ります。

国と市による二人三脚のなれあいぶりを厳しく指摘してきた私たちとしては、想定内の出来事と受け止めています。たとえ、国の事業認可は出ても何ら本質的問題は変わらず、LR T事業と市民との矛盾はますます拡大すると思います。

LR T 強行
無理筋多すぎる

Q その辺のところをもう少し、くわしく聞かせてください。

A 私は、3月議会の代表質問で、本市の日本初の全線新設軌道によるLR T建設は、大企業・ゼネコン・デベロッパー奉仕の新たな仕事興しの試金石・突破口として、国交省と宇都宮市の合作によりさまざましい執念で推進されていること。その計画と進め方には、余りにも無理筋が多すぎると指摘しました。具体的には…

第1点・市自治基本条例に背を向け、事業の前提に市民合意が存在しない。

第2点・平石中央小問題の原因は、この地域の軌道はまぎれもない新設専用軌道なのに、併用軌道と言いつつ張る脱法的手法。

第3点・東西一体で1000億円をこえる軌道事業なのに、減価償却費を計上しない赤字隠し。

第4点・市民の生活の中を走るルートではなく、500億円もかけて、利用する市民は一日わずか6400人の需要予測に見られる費用対効果の破綻を指摘。これでは、工事着工の中で市

民との矛盾はますます拡大することは明らかです。

絶対に許せない！
福祉の向上 後回し

市民との矛盾が最も先鋭化するの、地方自治の本旨である住民福祉の向上の問題です。党市議員団は「そのけ・そのけLR Tが通る」税金の使い方を厳しくチェックし、市民の暮らし・福祉を守り抜く決意です。

地権者と沿線住民のためのLR T—〇番開設

Q 工事着工の中で、今後どのように取り組みますか？

A 現計画は市民全体の利益に反しており、駅西側計画をにらみ反対を貫きます。強引な路線上の土地取り上げを監視するため、党市議員団として、LR T問題—

〇番を開設します。市民全体とも連携した運動を強めます。



不屈の闘いに感動！ 映画「カメジロー」



「米軍が最も恐れた男」その名は、カメジロー」
沖繩の闘いに連帯しよう
と集まった人たちが、そして瀬長亀次郎という人物を知ろうという人々で映画館は開始時間には満席になった。
沖繩の戦後史が私たち本土に暮らす人間には知るよしもない大変なものだったかを、明らかにしてくれた。
瀬長亀次郎は占領下の沖繩で、米軍の圧政と闘い、民衆から圧倒的な支持を得てきた人だった。
演説をすると、十万人以上の人々が集まったという。民衆を引き込み鼓舞する力を持つていたというのだ。
政治家としての顔だけでなく、現在「不屈館」の館長でもある次女の内村千尋さんの語りを通じて父親・夫としての一面も大いに伝えてくれた。
妻のフミキとは、

日本共産党宇都宮市議員団 副委員長 天谷美恵子

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも

日時 4月14日(土) 午後2～4時
5月12日(土)

会場 宇都宮市総合コミュニティセンター

連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)
相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。